

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 10-4-3	事務事業名 学校開放プール運営事業	所管部課 教育部 社会教育課
-----------------	----------------------	----------------------

施策コード 創3-3	施策名 スポーツ・レクリエーション活動の振興	施策目標 市民がそれぞれの体力や技術などに応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会・場所づくりをめざします。
---------------	---------------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	市民の体位向上及び健康保持を図ることを目的実施する。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	夏季休業中に小中学校のプールを借用し、一般開放と団体開放を実施する。(中学校1校、小学校2校で実施日は土曜日と日曜日)青嵐中学校は、一般開放を計2日。田無小学校は、一般開放を計4日、団体開放を計2日。けやき小学校は、一般開放を計6日、団体開放を計4日。開放時間は、①午前10時～正午 ②午後1時30分～3時30分。使用料は無料。実施は委託業者(運営上の安全と効率を図るため、教育指導課の小学校夏季支援プールと同一業者と委託契約) (10.06.03.03社会教育プール関係費)	
	事業開始時期	平成15年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		1,406	1,977	1,566	1,946
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		1,406	1,977	1,566	1,946
所要人員(B)	人	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,616	1,633	1,540	1,647
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	3,022	3,610	3,106	3,593
単位当たりコスト(E)=(D)/(学校数)	千円	1,007	1,203	1,035	1,198

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①学校数	実績値 校	3	3	3	3
②一般開放日数	実績値 日	12	11	12	12
《指標の説明・数値変化の理由 など》 実施している学校数を記入している。 小学校2校、中学校1校 合計3校					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 一般開放参加者数	目標値 人				
	実績値 人	520	417	616	
二 団体開放参加者数	目標値 人				
	実績値 人	122	149	21	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 団体開放は、22年度は4日間。23年度は4日間。24年度は1日間。(団体の利用申請により増減する) 一般開放、団体開放も屋外プールのため、年度により、天候気温等により、中止になることや、利用が少なくなる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	利用している参加者は、無料で空いているプールで楽しく遊べる事が出来て好評である。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 小中学校のプールを夏季休業中に開放しているのは、26市中6市
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 スポーツセンターのプールを利用。

事業コード 10-4-3	事務事業名 学校開放プール運営事業	所管部課 教育部 社会教育課
-----------------	-------------------	-------------------

施策コード 創3-3	施策名 スポーツ・レクリエーション活動の振興	施策目標 市民がそれぞれの体力や技術などに応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会・場所づくりをめざします。
---------------	---------------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<p>開放可能な小中学校は、東京都プール条例により、量水器が設置されている青嵐中学校、田無小学校、けやき小学校に限られるため、地域の偏りがある。また、青嵐中学校は水深が深く、安全管理上小学校5年生以上と限定されているため、特に参加者数が少ない。(参加者数実績 7/28:午前9名、午後11名 7/29:午前10名、午後10名) さらに、田無小学校、けやき小学校の参加者は、同じ人が複数回、毎週、利用していることが多くみられる。</p> <p>平成23年7月に大阪府泉南市の小学校開放プールで起きた児童の死亡事故により、プール監視業務を受託する場合は、警備業の認定が要件となる旨が警察庁より通知された。より一層の警備業者の資質向上と、運営上の安全確保の徹底が求められている一方で、利用者数が少ないため、利用者1人当たりのコストは5,000円、実施日数1日当たりのコストは約250,000円を超えるものとなっている。</p>
	事業の必要性	1	
	事業主体の妥当性	1	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<p>平成17年度には利用者一人あたりのコストが2,600円を超えていたため、コスト削減が求められていたにもかかわらず、現在は5,000円となっており高コスト体質となっている。</p> <p>小学生を対象とするものには夏季支援プールがあり、さらにスポーツセンターのプールや、民間のプールなど代替類似サービスがある現状を考慮すると廃止を視野に入れた抜本的な見直しが必要である。</p>
	事業の必要性	1	
	事業主体の妥当性	1	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業の抱える課題は、高コスト体質にあり、地域的な偏在や利用者の少なさ、他の代替サービスの充実状況などを踏まえると、廃止をも視野に抜本的な見直しが必要であるということは、二次評価において指摘のとおりであると言える。</p> <p>検討にあたっては、廃止を含めた見直しによる影響の度合いを見極め、適切な対応を図りたい。</p>